# MAIL NEWS

JTSU JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION
ＪＲ東日本輸送サービス労働組合

HOMEPAGE TWITTER

2023,05,29 NO. 242


申34－①

## JR東日本運輸サービスで働くすべての仲間の〝働きがい〟と〝生きがい〟と〝こころの豊かさ〟を実現する申し入れ

**5月23日 JETSと団体交渉開催!**

人件費割合の増加を理由とした労働条件の切り下げを行わないこと。また、業務受委託費及び業務量の適正化を図るとともに、労働条件・労働環境の整備を実施すること。

（回答）会社の経営環境等を考慮しつつ、労働条件および労働環境改善に向けて取り組んでいる。

本交渉の議論におけるポイント

**会社より 機械では出来ない人ならではの作業が主の会社である との考えが示される!**
**その上で、社員への還元は必要であり、できるときに実施していくことを確認!**



組

2023年の「ベアゼロ」という結果は経営の責任を社員に押しつけることであり断じて認められない！基本給、期末手当を含めて人件費の在り方についてどのように考えているのか。

賃金関係では、期末手当は業績連動であり、時々の業績によって上げることができるが、基本給については将来にわたっての影響が大きい。今後は本体からの出向者が減少し、正社員の増加が見込まれることから、それらを踏まえて判断をしていく必要がある。また、95%近くの収益がJRからの受託費であることから、人件費を増加させるためには業務量の増加ではなく業務単価を上げることや、できる改善を行い業務効率を上げることが必要となる。

働きがいの持てる職場をつくり、人材を根付かせるためには賃金をはじめとした労働条件の向上が必要である。2023年度は〝人〟〝もの〟への投資をしっかりと行うこと。

当社は人に依存する業務を主とする企業である。「ずっと当社で働きたい」と思ってもらう社員を増やすことは重要である。
昨年度は10月に6号棒の賃金改善、報労金のびゅう商品券3万円支給を実施してきたように社員への還元については今後も必要なときに実施の判断をしていきながら、社員に報いなければならないと思っている。

会



**未曾有の物価上昇の影響により、組合員の生活は困窮している！**
**〝こころの豊かさ〟の実現のためには物価高に負けない賃金の引上げが必要不可欠だ!**

現場では「人が足りない」と悲痛な声が上がっている！適正な業務量と要員配置を行うこと。

コロナで鉄道利用者が減少していたことから車両がそれほど汚れないことを想定して清掃頻度を下げ、業務量を減少させてきた。現在は鉄道利用が戻ってきてはいるが、業務量がすぐに増加とはなっていない。また、コロナの時期は業務量が一時的に減少したことから採用数を絞り、人件費を下げてきた。

合



**お客さまのご利用が戻っている中でも、**
**縮小されたままの体制で日々、清潔・快適な車両を提供し続けている!**



社

働く環境の改善がなかなか進まないのが現状である。事業所の実態や社員の声に基づき設備等の改善を実施していくこと。

設備の改良などについてはＪＲ本体の設備であることが多く、独自で改善に向けて動くことが難しいが、間内改良やＪＲ本体と相談するなどしてできる範囲で改良している。声を拾い切れていない部分については主管とも話をしていく。

**'人が資本の会社'との共通認識の元、全社員が働きやすい職場・労働環境を実感できるよう**
**引き続き改善を進めていくことを確認し、団体交渉を終了!**